

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs への取り組み 横浜ランドマークタワーの 「地球に優しい生活」

横浜ランドマークタワーでは、地球を救い、豊かで明るい未来を
「つなぐ」ために、今私たち一人ひとりができること、
すべきことを意識して取り組む SDGs の活動を推進。
ショッピングやお食事などの利用を通してはもちろん、
さまざまなアプローチでサステナブルな暮らしの提案をしています。

LANDMARK PLAZA
Queen's Tower A



working on
"SDGs"
LAND
MARK
PLAZA

横浜ランドマークタワーのSDGsへの取り組み

1 再生可能エネルギー使用

2021年度より、再生可能エネルギー（水力発電の電気）を使用しています。これによる **CO2 削減量は、約2万トン**（都内の三菱地所グループ施設トータルで年間約18万トン）を見込んでいます。

導入しているのは...

生グリーン電力

風力、太陽光、バイオマスなど再生可能エネルギーより発電され、一般送電網を通じて託送される電力



※ 横浜市風力発電所（ハマウィング）に三菱地所は協賛しています。



2 ゴミのリサイクル

ゴミを再利用するために、項目ごとに細分化して分別。

2019、2020 年度は、資源化率 30%を超えています。

特に生ゴミは、**Jバイオフードリサイクル（株）**に委託し、**再生可能エネルギーとしてリサイクル**しています。

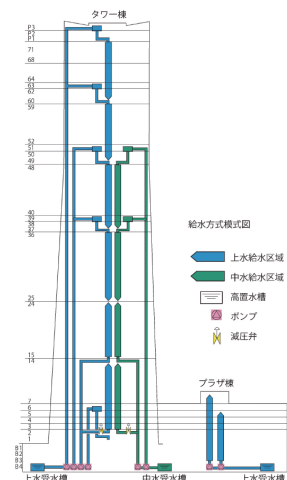
一般 廃棄物	●ダンボール ●雑誌 ●新聞紙 ●OA用紙 ●生ゴミ ●ミックスペーパー ●シュレッダー紙 ●燃やすゴミ
産業 廃棄物	●プラスチック類 ●金属くず ●ガラスくず ●ペットボトル ●混合廃棄物 ●蛍光灯 ●乾電池 （※ 産業廃棄物は資源化率 100%）



Recycle!!



● 見学場所 塵芥処理室



3 排水の再利用

ホテルや飲食店舗の厨房などから出た雑排水を中水道設備で浄化し、再度オフィスのトイレの洗浄水として再利用しています。**水資源を有効に利用するとともに、排水量を削減し、下水道の負担を軽減**しています。



LANDMARK
"SDGs"

4 照明のLED化



● 見学場所 69 階展望フロア
「スカイガーデン」



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくも減らし
つなぐ責任



13 気候変動に
具体的な対策を



14 海の豊かさ
を守ろう



15 陸の豊かさ
を守ろう

2018 年度に照明の LED 化を 5 フロアで実施し、約 680 トンの CO2 排出削減を達成。2015 ～ 2018 年度には、照明の LED 化をはじめ、空調の高効率モーターへの更新、冷温水循環用ポンプの更新、インバータ制御運転等を計画的に推進し、合計約 2,100 トン、約 8% の CO2 排出削減を達成。地球環境への配慮を経営の重点課題のひとつとして、横浜市風力発電事業に協賛する等、環境保全に積極的に取り組んでいます。

LANDMARK
"SDGs"

6

電気自動車 (EV)、プラグインハイブリッド自動車 (PHV) 用 普通充電器を設置

近年増えている、電気自動車 (EV)、プラグインハイブリッド自動車 (PHV)。今後も増加が予想されることから、NEC が開発した EV、PHV 用普通充電器を設置し、三菱地所が購入する風力発電による自動エネルギーを活用した カーボンフリーの有料充電サービスの提供を 2015 年度から開始。

このサービスにより、グリーン電力証書を活用し、風力発電による自然エネルギーを利用することで、EV、PHV 走行時だけでなく、充電用発電の際の CO2 排出量もゼロに抑え、低炭素型社会の実現に貢献。

(民間企業がグリーン電力証書を活用し、複数施設において EV、PHV 充電設備を導入するのは日本初の試みです。)



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を



LANDMARK
"SDGs"

5 ベイバイクをランドマークプラザ敷地内に設置

人にも地球にも優しい自転車。横浜の街中に設置された自転車のレンタル・返却ができる「baybike ベイバイク」は、ポートを使った新しいスタイルのレンタサイクル。従来のレンタサイクルとは異なり、借りた場所に返却する必要はなくこのポートでも借りて・返せるのが特徴。この ポートがランドマークプラザの敷地内にも設置されています。



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



11 住み続けられる
まちづくりを



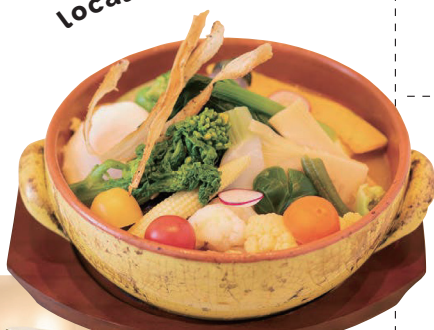
13 気候変動に
具体的な対策を

ランドマークプラザ が実施した SDGs イベント

ショッピングやお食事の利用を通して、サステナブルな生活を提案するのはもちろん、本年度だけでも数々のイベントを実施。例えば、コロナ禍で行き場を失った横浜産の野菜や果物を飲食店で使用し、地産地消フェアを行ったり、CO2 排出量が少なく、リサイクルや持続可能性の観点でとても優れた特徴を持っている「ダンボール」を使用した「ダンボールアート展」や、ダンボールアートづくりが体験できるワークショップなどを開催。SDGs を身近に感じてもらえるよう、積極的に活動しています。



Local food ♥



横浜ロイヤルパークホテルの 取り組み

環境に優しい、生分解性ストローや、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入する認証ワイン（フェアフォーライフ認証、国際フェアトレード認証）、国際フェアトレード認証コーヒーを導入。またデリカ＆ラウンジ「コフレ」では、ホテルで余り、以前は廃棄されていたお花を小さなブーケにして販売し、ロスフラワーの削減を実現。そしてレストラン＆バンケット「フローラ」では、ハラール（イスラム法に則ったもの）、ベジタリアン、ヴィーガン（完全菜食主義者）、グルテンフリーなど、さまざまなニーズに対応したメニューも充実しています。



防災センター

タワー棟の1階に防災センターがあり、煙感知器や非常放送、非常照明などの各種防災機器の作動状況や、エレベーターやエスカレーターの運行状況、館内各所に設置されたカメラによって建物内の状況の確認を行っています。また、館内を巡回して異常がないか日々点検しています。



● 見学場所 防災センター